

署名用紙をリニューアルしました。

2022年1月

「いまこそ中止を！沖縄・辺野古新米軍基地建設」リーフとともに活用を

「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」

- * 署名用紙A4版 1枚 1円（送料実費負担）
- * 1月25日以降発送可能です。



辺野古新基地建設工事の中止を！

世界一危険な普天間基地の撤去を

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13 MMビル 502
電話 03-3264-4764 E-mail: anpohaiki@nifty.com

署名にご協力ください

辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願

米海軍副司令 様
米海軍副司令 様

【紹介職員】

請願書

玉砕デー特別告知は2021年11月25日、特別告知が2020年4月に申請した辺野古新基地建設計画の設計変更計画を不承認しました。玉砕告知は、米海軍基地の建設が不十分なこと、危険な危険な日本への影響が深刻に予測されていないことなどを挙げ、「公表表明立法」の条件に適合しないとしています。玉砕告知はまた、新基地完成までに不現実性があり、「普天間飛行場の危険性の早期撤去につながらず合理性がない」としています。

新基地の埋め立て予定地である大浦湾の埋立地盤について、政府は2015年の調査で把握していましたが、そのことを隠し2018年に埋め立てを開始した。2019年に当時の安倍首相が初めて国会でこれを認めました。しかし、埋め立ての厚さ90メートルに及ぶ軟弱地盤のうち、70メートルまでしか改良工事計画がなく、調査結果が公表されていない埋立地の軟弱地盤によって、工事終了後に崩落する危険性を専門家が指摘しています。

また、今回の埋め立て計画で、特別警戒区域の許可を含む可能性がある本島南部からの土砂採取計画が盛り込まれていることは、人道上許されません。

このような基地建設に2兆5500億円（特別課税）もの税金を使うことは認められません。

1996年に普天間基地の返還が合意されたからすでに25年以上が経過したにもかかわらず、返還に向けた進捗が見られない中、米軍機からの落下物などにより、周辺住民の生活が脅かされています。政府の設計変更申請によっても今後さらに12年かかることとされており、全く見過しは立ちません。

以上により、または下記事項の実現を強く求めます。

【請求項目】

1. 辺野古新基地建設工事を中止すること。
2. 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去をアメリカに求めること

氏名	住所

取り扱い保持

【送付先】 安保破棄中央実行委員会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13 MMビル 502

安保破棄中央実行委員会

TEL 03-3264-4764

FAX 03-3264-4765

Eメール anpohaiki@nifty.com

注文書「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」

2022年 月 日

部数	部
お名前	
送付先	〒
TEL	